

2017 年度(平成 29 年度)

事業報告書

(2017 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日まで)



学校法人 東京音楽大学

目 次

I 法人の概要

1. 設置する学校等 1
2. 沿革 2
3. 入学定員 及び 在籍者数 2
4. 役員・評議員 3
5. 教職員数 3

II 事業の概要

- 総 括 4

項目別概要

1. 大学..... 4
 - (1)教育支援 5
 - (2)演奏活動 6
 - (3)学生支援11
 - (4)キャリア支援12
 - (5)国際交流12
2. 大学院13
3. 研究支援13
4. 地域連携・社会人講座14

5. FD・SD 研修会14
6. 施設整備.....15
7. 広報活動..... 16

附属機関

1. 附属図書館 17
2. 附属高等学校 17
3. 附属幼稚園 17
4. 附属音楽教室 18
5. 附属民族音楽研究所 18

III 財務の概要（別冊）

1. 設置する学校等

東京音楽大学

音楽学部音楽学科	器楽専攻	ピアノ ピアノ演奏家コース ピアノ演奏家コース・エクセレンス コンポーザー＝ピアニストコース ピアノ・創作コース チェンバロ オルガン ヴァイオリン ヴィオラ チェロ コントラバス ハープ クラシックギター フルート オーボエ クラリネット ファゴット サクソフォン ホルン トランペット トロンボーン チューバ ユーフォニアム 打楽器
	声楽専攻	声楽 声楽演奏家コース
	作曲指揮専攻	作曲（芸術音楽コース） 作曲（映画・放送音楽コース） 作曲（ポピュラー・インストゥルメンツ コース） 作曲（ソングライティングコース） 指揮
	音楽教育専攻	応用音楽教育コース 実技専修コース
	ミュージック・ リベラルアーツ専攻	
大学院音楽研究科 （修士課程）	器楽専攻	鍵盤楽器 弦楽器 管打楽器 室内楽
	声楽専攻	独唱 オペラ
	作曲指揮専攻	作曲 指揮
	音楽教育専攻	音楽教育 音楽学 ソルフェージュ
大学院音楽研究科 （博士後期課程）	音楽専攻	器楽・声楽・作曲指揮・ソルフェージュ 音楽教育学 音楽学

付属図書館

付属高等学校	音楽科	声楽専攻 器楽専攻 作曲専攻 音楽総合コース
--------	-----	---------------------------------

付属幼稚園

付属音楽教室

付属民族音楽研究所



中目黒・代官山キャンパス 2019年1月竣工

2. 学校法人東京音楽大学の沿革

1907(明治 40 年) 5 月	東洋音楽学校設立 (神田区)
1924(大正 13 年)11 月	豊島区雑司が谷 (現南池袋) に移転
1947(昭和 22 年) 5 月	財団法人東洋文化学園と改称
1949(昭和 24 年) 3 月	東洋高等学校 (音楽科) 開設
1950(昭和 25 年) 2 月	東洋幼稚園開設
1951(昭和 26 年) 3 月	学校法人東洋文化学園認可
1954(昭和 29 年) 2 月	東洋音楽短期大学設置認可
1963(昭和 38 年) 2 月	東洋音楽大学設置認可
1969(昭和 44 年) 8 月	名称変更認可
	学校法人東洋文化学園を学校法人東京音楽大学に改称
	東洋音楽大学を東京音楽大学に改称
	東洋高等学校を東京音楽大学付属高等学校に改称
	東洋幼稚園を東京音楽大学付属幼稚園に改称
	東洋音楽学校を東京音楽学校に改称
1970(昭和 45 年) 3 月	東洋音楽短期大学廃止認可
1976(昭和 51 年) 7 月	東京音楽学校廃止認可
1993(平成 5 年) 3 月	東京音楽大学大学院音楽研究科修士課程設置認可
2007(平成 19 年) 5 月	創立 100 周年を迎える
2013(平成 25 年)10 月	東京音楽大学大学院音楽研究科音楽専攻博士後期課程設置認可
2014(平成 26 年) 4 月	東京音楽大学大学院音楽研究科音楽専攻博士後期課程開設
2017(平成 29 年) 4 月	東京音楽大学音楽学部音楽学科ミュージック・リベラルアーツ専攻開講

3. 設置する学校・学科・専攻、入学定員 及び 在籍者数

		2017年5月1日現在			
区分		入学定員	収容定員	在籍数	
幼稚園	付属幼稚園	—	150	134	
高等学校	付属高等学校	70	210	234	
大学	音楽学部 音楽学科	声乐	50	200	176
		器楽	195	780	943
		作曲指揮	25	100	119
		音楽教育	28	112	72
		ミュージック・リベラルアーツ	12	48	20
		小計	310	1240	1330
大学院	前期課程 (修士)	器楽	36	72	95
		声乐	21	42	40
		作曲指揮	5	10	3
		音楽教育	8	16	17
		小計	70	140	155
	後期課程 (博士)	音楽	3	9	17

4. 役員・評議員

役員	理事長	鈴木 勝利			
	理事	野島 稔	佐々木正峰	高祖 敏明	保倉 裕
		丸山恵一郎	福島 啓充	野本 正平	原山 耕造
	監事	吉田 恭治	池田 千絵		
評議員		野本 正平	西村 朗	大谷 康子	鈴木 信五
		釜洞 祐子	菊地 麗子	坂崎 則子	武田 真理
		岡田 敦子	菅原 淳	小六禮次郎	渡辺 国彦
		原山 耕造	在間 聡子	稲葉 良太	小村久米夫
		広上 淳一	鈴木 勝利	丸山恵一郎	
東京音楽大学長		野島 稔			
東京音楽大学副学長		野本 正平			
大学院音楽研究科長		野島 稔			
附属図書館長		坂崎 則子			
附属民族音楽研究所長		池辺晋一郎			
附属高等学校長		野本 正平			
附属幼稚園長		加納 里美			
附属音楽教室長		村上 隆			

5. 教職員数

2017年5月1日現在

教職員数	専任					兼任					合計	研究員	事務局	総計
	教授	准教授	講師	研究員	計	客員教授 特任教授 兼任教授 特別招聘教授	客員准教授 兼任准教授	特任講師 講師	助教 助手	計				
大学	58(20)	32(11)	30(16)		120(45)	44(11)	4(1)	213(105)	2 45(26)	308(143)	427(188)	23(10)	67(38)	518(236)
大学院						2(1)		2(1)		4(2)	4(2)			4(2)
民族音楽研究所				1(0)	1(0)			5(4)		5(4)	6(4)	2(1)		8(5)
附属高等学校	11(3)		1(1)		12(4)			32(20)		32(20)	44(24)		2(2)	46(26)
附属幼稚園	10(10)				10(10)			2(2)	6(6)	8(8)	18(18)		1(1)	19(19)
附属音楽教室								11(11)	2(2)	13(13)	13(13)			13(13)
総計	80(33)	32(11)	32(18)	1(0)	142(59)	46(12)	4(1)	265(143)	55(34)	370(190)	512(249)	25(11)	70(41)	608(301)

【注】総数(内女性数)

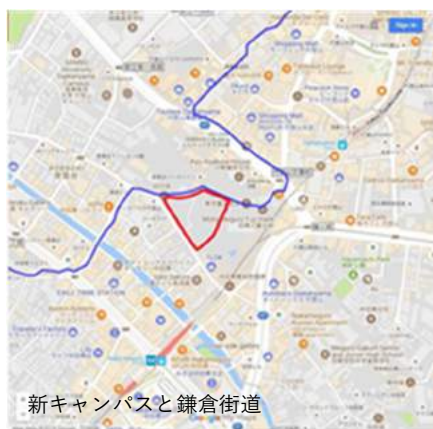
Ⅱ 事業の概要

総括

本学は、2019年度を創立111周年記念の年とすることとして、創立111周年記念事業推進本部を立ち上げ、諸準備を進めるとともに、将来を見据えてブランドアイデンティティ（ロゴ・空間表現）を実現すべく、新たなロゴマークを制定し、また、愛称としてTokyo College of Musicの頭文字をとりTCM（ティーシーエム）とすることを決めた。

中目黒・代官山キャンパスの工事は、都市型音楽大学として、デジタルメディアを駆使した最先端設備を備え、地域と共存共栄できる緑に溶け込む設計等により、キャンパス整備等検討委員会のもと、2019年1月の竣工に向け順調に進んでおり、昨年12月、都市緑化機構/第一生命財団による特別企画「おもてなしの庭」助成プログラム『みどりの環境プラン大賞』を受賞した。新キャンパス計画のテーマ「まちと協奏するみどりの中の音楽大学」に示されている、鎌倉街道沿いの樹木の保存と敷地内の植栽計画が評価されての受賞であった。

下図のとおり、新キャンパスの北側が旧鎌倉街道であり、そこから北へ辿ると、豊島区高田一丁目からけやき並木の鬼子母神参道へと続いており、景観に配慮した「みどりの中のキャンパス」は、鎌倉街道により池袋まで繋がっている。



新専攻として開校した「ミュージック・リベラルアーツ専攻」は12名の定員に対し、18名の新入生を迎えることが出来、幸先の良いスタートとなった。また、授業科目のシラバスを授業担当教員が個々のPCから直接入講するなどの新システム「Juliet」が構築され、全学的なIT化に向けての取り組みが始まった。更に、教職員のレベルアップを図るため、これまでのFD委員会に加え、SD委員会を立ち上げ、研修会などを開催し、教員に関しては、教職員免許状に関わる課程認定への申請のための教員業績の総点検及び全教員に専門に関する論文の提出を要請するなど、教員の専門性、教職員の質の向上に務めている。

2017年度(平成29年度)に本学が取組んだ主な事業は以下のとおり

項目別概要

1. 大学

(1) 教育支援

<学部学生数>

- ① 2017年5月1日付の学生数 1,330名
- ② ・2017年9月卒業者数 10名
・2018年3月卒業者数 322名
- ③ 2017年度の退学者数 24名
(声楽5名、ピアノ演奏家コース1名、ピアノ4名、ヴァイオリン4名、ヴィオラ1名、ハーブ1名、フルート2名、サクソフォーン1名、作曲/映画・放送音楽コース2名、音楽教育1名、ミュージック・リベラルアーツ2名)
- ④ 2017年度の除籍者数 2名
(ピアノ演奏家コース1名、作曲/映画・放送音楽コース1名)
- ⑤ 2017年度の休学者数 29名
(声楽演奏家コース4名、声楽5名、ピアノ演奏家コース1名、ピアノ6名、ヴァイオリン2名、クラリネット1名、サクソフォーン1名、トランペット1名音楽教育2名、作曲/芸術音楽コース1名、作曲/映画・放送音楽コース4名、作曲/ポピュラー・インストゥルメンツコース1名)

<教育内容の充実>

- ① 1コマ80分の授業は2017年度までとし、2018年度より1コマ90分授業を実施するための時程表が7月の教授会で承認され、開始に向けて準備を行った。
- ② 2018年度の学事暦は、2017年度の問題点を改善した学事暦にするため、教員や関係部署との意見交換を重ねた結果の案とし、10月の教授会で承認された。
- ③ 2018年度の時間割編成にあたり、現状よりさらに授業コマ数を削減し、学生にとって効率的な時間割となるよう、大幅な見直し⑧を行った。
⑧:2018年度入学生より『西洋音楽史概論1,2』1,2年次必修8単位を、1年次必修4単位に変更、外国語科目(英語群)『英語コミュニケーション1,2』を1年次2単位必修科目とするなど。
- ④ 2017年4月に開講したミュージック・リベラルアーツ専攻のカリキュラム内容をより充実させるため、アカデミック・アドバイザーと学生からの意見を集約し、調整を行った。
- ⑤ 吹奏楽アカデミー専攻の2019年度4月開設に向けて準備検討を行った。
- ⑥ 学内全体のIT化導入計画に伴い、その第1段階として2018年度シラバスと学生の履修登録を紙ベースではなく、PC・スマートフォンを使用して行うこととなり、その対応を行う。
- ⑦ 教職課程再課程認定の如何に関わらず、本学教員の資質向上を図るため、専任・非常勤を問わず、すべての教員に研究論文の提出を義務付け、『東京音楽大学創立111周

年記念『教育研究論文集』を9月から12月にかけて第1号～第5号を刊行した。今後
も継続的に論文集の刊行を続けてゆくことになった。

- ⑧ 2018年度からの声楽専攻のコース改変に向けての準備を行った。
- ⑨ 障がい学生（全盲）の入学に伴い、教員への協力要請および授業等の修学支援を行
った。

<上智大学との交流学生 100単位交換>

上智大学からの交流学生 (通年) 16名
東京音楽大学からの交流学生 (春学期) 20名、(秋学期) 10名

<教職課程>

教職課程認定

2016年度に引き続き、文部科学省からの【再課程認定】に係る書類提出について（申請
の手引き）により、本学の教職課程に必要な科目を担当する教員（非常勤も含む）の履
歴書と教育研究業績書を纏め、申請の準備を行った。

教職課程履修学部生

- ① 2017年度教育実習者数 170名
- ② 2017年度教員免許状授与件数
 - ・中学校教諭一種免許状 149件
 - ・高等学校教諭一種免許状 164件
- ③ 2017年度教員採用試験合格者数 6名
- ④ 《小学校教諭2種免許状取得講座》明星大学通信講座受講者数 17名
- ⑤ 2017年度介護等体験者数
 - 特別支援学校（2日間） 148名
 - 社会福祉施設（5日間） 147名

(2) 演奏活動

本学主催演奏会7件（卒業演奏会、シンフォニックウインドアンサンブル定期演奏会、学内
オーディション合格者によるソロ・室内楽定期演奏会、ピアノ演奏会、ピアノ教員演奏会、弦楽
アンサンブル演奏会、オーケストラ定期演奏会）の他に、『学生ギター交流演奏会』『教員による
室内楽演奏会』の特別演奏会を開催し、国内外で活躍している演奏家との交流や、他大学との交
流を図った。

また、外部団体主催の依頼演奏会では、シンフォニーオーケストラが長野県信濃町主催『癒し
の森コンサート Vol.7』、千葉県東総文化会館主催『東総の第九 2017 演奏会』に出演し、レベ
ルの高い演奏で地元の中・高校生ほか、地域の人たちに喜んで頂いた。

本学の合唱とオーケストラによる『東京音楽大学創立111周年記念オペラ公演』は、学内ホ
ールにおいて本格的なオペラ公演を行ったほか、ルターの宗教改革500年記念として外部団体

から依頼を受けた同じく合唱とオーケストラによる東京芸術劇場での『ドイツクワイエム演奏会』においても好評を博した。

毎年恒例となっている12月の日本フィルハーモニー交響楽団と本学合唱団との『第九演奏会』も大変好評であった。

① 主催演奏会

演奏会名	日時	場所	入場者数／客席数
東京音楽大学&村治ギター早期才能教育教室 学生ギター交流演奏会	2017年4月26日(水) 18時00分開演	本学J館スタジオ	120名／200席
卒業演奏会	2017年4月28日(金) 19時00分開演	東京文化会館小ホール	602名／649席
教員による室内楽演奏会	2017年5月28日(日) 16時00分開演	本学A館100周年記念ホール	674名／806席
シンフォニックウインドアンサンブル特別演奏会	2017年7月12日(水) 18時30分開演	千葉県文化会館大ホール	683名／1,787席
シンフォニックウインドアンサンブル第48回定期演奏会	2017年7月13日(木) 18時30分開演	東京芸術劇場コンサートホール	1,340名／1,999席
ピアノ演奏会 ～ピアノ演奏家コース成績優秀者による～	2017年7月28日(金) 第Ⅰ部13時00分開演 第Ⅱ部15時30分開演 第Ⅲ部18時30分開演	東京文化会館小ホール	917名／649席
土曜コンサートシリーズ Vol.13 ピアノコンサート	2017年9月9日(土) 16時00分開演	本学J館スタジオ	107名／200席
	2017年9月16日(土) 16時00分開演		121名／200席
学内オーディション合格者による ソロ・室内楽定期演奏会	2017年9月17日(日) 第Ⅰ部13時00分開演 第Ⅱ部15時30分開演	本学A館100周年記念ホール	367名／806席
第10回ピアノ教員によるコンサート	2017年9月30日(土) 17時00分開演	本学A館100周年記念ホール	700名／806席
土曜コンサートシリーズ Vol.14 ピアノコンサート	2017年10月7日(土) 16時00分開演	本学J館スタジオ	74名／200席
弦楽アンサンブル第27回演奏会	2017年10月7日(土) 17時00分開演	本学A館100周年記念ホール	676名／806席

創立 111 周年記念オペラ公演 大学院「オペラ特殊研究」発表 ラ・ボエーム 	2017 年 10 月 21 日 (土) 17 時 00 分開演	本学 A 館 100 周年記念ホー ル	560 名 / 597 席
	2017 年 10 月 22 日 (日) 14 時 00 分開演		518 名 / 597 席
ミニコンサート&公開レッスン (作 品解釈授業兼ねる) エリソ・ヴィル サラーゼ	2017 年 12 月 7 日 (木) 17 時 10 分開演	本学 A 館 100 周年記念ホー ル	420 名 / 806 席
シンフォニーオーケストラ定期演 奏会	2017 年 12 月 14 日 (木) 19 時 00 分開演	東京芸術劇場コンサートホ ール	1,638 名 / 1,999 席
ファルカシュ・ガーボル リスト「巡礼の年」全曲演奏会	2018 年 3 月 17 日 (土) 14 時 00 分開演	本学 A 館 100 周年記念ホー ル	552 名 / 806 席

② 外部団体からの出演依頼による演奏会 (管弦楽・吹奏楽・合唱)

演奏会名 (共演)	日時	場所	主催
東京音楽大学が奏でる癒しの森 コンサート vol.7 (本学シンフォ ニーオーケストラ)	2017 年 9 月 3 日 (日) 13 時 30 分開演	長野県信濃町総合体育館	癒しの森コンサ ト実行委員会 東京 音楽大学×信濃町
みないけコンサート (本学シン フォニックウインドアンサンブ ル)	2017 年 10 月 28 日 (土) 10 時 30 分開演	本学 A 館 100 周年記念ホ ール	豊島区立南池袋小 学校
ブラームドイツレクイエムコ ンサート (本学合唱団及びシン フォニーオーケストラ)	2017 年 10 月 31 日 (火) 19 時 00 分開演	東京芸術劇場コンサート ホール	R500 実行委員会
第 8 回音楽大学オーケストラ・ フェスティバル (本学シンフォ ニーオーケストラ・武蔵野音楽 大学オーケストラ)	2017 年 11 月 19 日 (日) 15 時 00 分開演	東京芸術劇場コンサート ホール	音楽大学オーケス トラ・フェスティバ ル実行委員会
「第九」交響曲 (本学合唱団共 演)	2017 年 12 月 21 日 (木) 19 時 00 分開演	東京芸術劇場コンサート ホール	日本フィルハーモ ニー交響楽団
	2017 年 12 月 23 日 (土・ 祝) 18 時 00 分開演	横浜みなとみらいホール	
	2017 年 12 月 25 日 (月) 19 時 00 分開演	サントリーホール	
東総の第九 2017 演奏会 (本学シ ンフォニーオーケストラ)	2017 年 12 月 24 日 (日) 14 時 00 分開演	千葉県東総文化会館	千葉県東総文化会 館

第7回 音楽大学フェスティバル オーケストラ演奏会(9 音楽大学 選抜学生メンバー)	2018年3月24日(土) 15時00分開演	東京芸術劇場コンサート ホール	音楽大学オーケス トラ・フェスティバ ル実行委員会
	2018年3月25日(日) 15時00分開演	ミュージア川崎シンフォニ ーホール	

③ 外部団体からの出演依頼による演奏会(アンサンブル・ソロ)

演奏会名	日時	場所	主催
東京音楽大学プロデュース ラ ンチタイムコンサート	2017年4月14日(金) 2017年5月12日(金) 2017年6月9日(金) 2017年7月14日(金) 2017年8月4日(金) 2017年9月8日(金) 2017年10月13日(金) 2017年11月10日(金) 2017年12月8日(金) 2018年2月23日(金) 2018年3月9日(金) 12時15分~12時45分	ベーゼンドルファー東京 展示サロン	ベーゼンドルファ ー東京
第18回新人演奏会	2017年4月29日(土・ 祝) 17時00分開演	東京文化会館小ホール	日本ピアノ調律師 協会
第87回読売新人演奏会	2017年5月4日(木・ 祝) 11時00分開演 17時00分開演 2017年5月5日(金・ 祝) 11時00分開演	東京文化会館大ホール	読売新聞社
区民ひろば回遊音楽キャラバン	2017年5月10日(水) 2017年6月7日(水) 2017年7月5日(水) 2017年10月4日(水) 2017年12月6日(水) 2018年1月17日(水) 2018年2月21日(水) 2018年3月7日(水) 10時30分~11時00分	区民ひろば 長崎 区民ひろば 朝日 区民ひろば 仰高 区民ひろば 高南第二 区民ひろば 西巣鴨第二 区民ひろば 清和第二 区民ひろば 高松 区民ひろば 要	豊島区
東京音楽大学提携シリーズ 北 本市文化センターホールロビー コンサート	2017年5月18日(木) 2017年7月20日(木) 2017年9月21日(木) 2017年11月30日(木) 14時30分開演	北本市文化センターホー ルロビー	北本市文化センタ ー

豊島区庁舎ランチタイムコンサート	2017年5月17日(水) 2017年7月19日(水) 2017年9月13日(水) 2017年12月15日(金) 2018年2月28日(水) 2018年3月28日(水) 12時00分～12時35分	豊島区庁舎としまセンタースクエア	豊島区
としまコミュニティ大学「ナビト」開校式 ミニコンサート	2017年6月3日(土) 14時10分開演	あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)会議室	豊島区
京都・国際音楽学生フェスティバル2017	2017年5月27日(土)～5月31日(水)	京都府立府民ホールアルティ	ロームミュージックファンデーション
東京音楽大学 表参道サロンコンサートシリーズ	2017年6月28日(水) 2017年10月11日(水) 2017年12月6日(水) 2018年2月21日(水) 19時00分開演	カワイ表参道コンサートサロン「パウゼ」	カワイ音楽振興会
レインボウ 21 サントリーホールデビューコンサート 2017 スペシャル	2017年11月29日(水) 19時00分開演	サントリーホールブルーローズ	サントリーホール

その他、依頼された演奏会等

- ・5月9日(火) 東京商工会議所豊島支部 移転報告会 弦楽四重奏
- ・6月10日(土) 豊島区図書館主催 2017年度第1回特別講演会 木管五重奏
- ・6月11日(日) 朝日新聞社主催 大学説明会 木管五重奏
- ・6月23日(金) 本学見学会 フルートミニコンサート
- ・6月29日(木) 目黒ロータリークラブ 例会 弦楽四重奏
- ・9月23日(土) オープンキャンパス ミニコンサート
- ・11月14日(火) 防火表彰式 金管アンサンブル
- ・11月26日(日) フィリアホール主催マエストロの白熱教室2017
- ・11月23日(木) イケビズフェスタ 金管アンサンブルコンサート 及び
トランペット、トロンボーンとヴァイオリン楽器体験指導
- ・12月2日(土) 駒込小学校創立100周年祝賀会 サクソフォーン四重奏
- ・12月21日(木) 目黒ロータリークラブ 家族例会 声楽演奏会
- ・1月5日(金) 豊島区新年名刺交換会 弦楽四重奏
- ・1月12日(金) 東京商工会議所豊島支部 新年賀詞交換会 弦楽四重奏

④ 第15回 東京音楽大学コンクール

2017年度は、弦楽器部門と管打楽器部門を対象として実施した。

それぞれの部門で5人の入賞者を選び、第1位～3位に賞金と賞状、また入選者には賞状を授与した。

演奏会名	日時	場所	参加者（結果）
管打楽器部門（予選）	2017年11月9日（木） 10時00分開演	本学A館100周年記念 ホール	35名（応募42名、先着35名、 棄権2名）
弦楽器部門（予選）	2017年11月11日（土） 10時30分開演		15名（応募15名、棄権1名、 失格0名）
管打楽器部門（本選）	2017年11月15日（水） 16時00分開演	本学A館100周年記念 ホール	5名（第1位～3位各1名、入 選1名、失格1名）
弦楽器部門（本選）	2017年11月16日（木） 16時30分開演		5名（第1位～3位各1名、入 選2名）

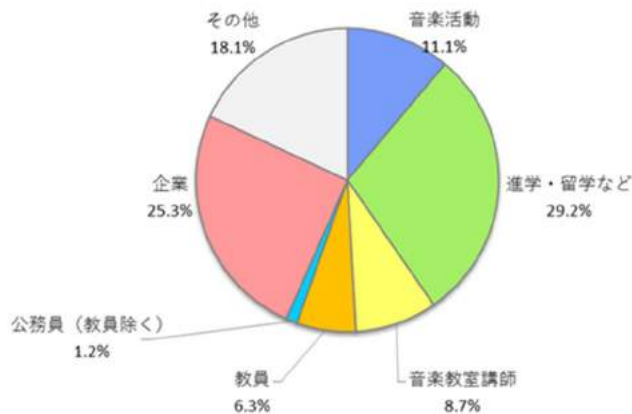
(3) 学生支援

- ① 東日本大震災（2011年3月11日発生）、熊本地震（2016年4月14日発生）により実家が被災した学生に対してリサーチ及び面談を行い、学費の免除や減免等の経済的支援を継続して行っている。学業成績が特に優秀な学生・生徒及び音楽活動に極めて優秀な成績を修めた者を対象に奨学金制度を実施しており、2017年度は105名を奨学生として褒賞した。
- ② 学生支援課をはじめ、医務室や学生相談室が対応している日頃の悩みや問題を訴える学生が年々増加傾向にある。2017年度に学生相談室を利用した人数は75名（学生・保護者・教職員を含む）で、延べ603件の面談及び156件の連携対応を行った。学部・大学院生の全学年を対象にUPI（University Personality Inventory）調査（回収率93.6%）を実施。サポートが必要な学生を見極め、問題が深刻化する前に来談に繋げるための呼びかけ（対象率21.0%・292名）を行っている。また「精神保健上治療を必要とする学生対応ガイドライン」を基に、学生の精神的・身体的危機回避率を高めるため、教職員への啓発を継続的に行った。
- ③ 障がい学生支援委員会の下、学生支援課が支援要請の窓口となり、障がい学生の支援を行った。2017年度には視覚障がい（全盲）の学生が入学したため、点字プリンター・読み上げ機能付きPC・スキャナーの設置、点字シールの貼付、点字ブロックの設置、移動時の誘導などの支援を実施した。また、外国人留学生への支援として随時面談を受け付け、留学生が相談できる窓口を設けた。
- ④ 目白台学生寮では緊急災害に際し寮生の人命尊重を第一とし、安全かつ迅速に避難ができるよう、地元消防署の協力を得て防災訓練（初期消火訓練、応急救護訓練等）を実施した（参加寮生111名）。中目黒新キャンパスの開設を視野に入れた新しい寮の在り方を模索するため、「新学生寮検討作業部会」であらゆる可能性を含めた検討を行ったが、当面は現目白台学生寮を継続して使用していくことになった。

(4) キャリア支援

学生が音楽という主軸を生かしながら、課題解決や多様性に触れつつ、企業をはじめとした他分野との共働イベントを実施した。また、就職希望者を中心にインターンシップ・ガイダンスや企業の協力を得て、学内での企業説明会を数日に亘って開催した。

2017年度 学部卒業生の進路

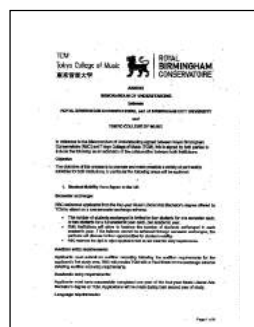


(5) 国際交流

当該事業	実績及び成果
ローマ・サンタチェチーリア音楽院	声楽専攻の学生対象にオペラをイタリアで学ぶ機会ができた。大学院の学生を一名サンタチェチーリア音楽院が主催するオペラに出演する為に派遣した。(12月)
王立バーミンガム音楽院との協定 (英国)	MLAの学生を対象とした交換留学プログラム設定。一年間のプログラムが可能になった。
ショパン音楽大学との協定。	ピアノ科の学生を対象に新たにショパン音楽大学へ、短期留学が可能になった。
フォルクヴァング芸術大学 (ドイツ、エッセン)	フォルクヴァング芸術大学に、ピアノ演奏家コース3年の学生が初めて春学期に参加中。
協定校からの交換留学生	シベリウス音楽院及びザルツブルク・モーツァルテウム大学からの交換留学生3名が一年間の留学プログラムを終了し、帰国。6月15日Aホールにて交歓演奏会、1月10日に室内楽コンサートリスト音楽院より、ピアノの学生が一か月間交換留学。
トビタテJAPAN留学	官民協働で行われている留学奨学金制度「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」に合格し、声楽演奏家コース2年の学生がニューヨークに留学中。

「協定書」左から

- ・王立バーミンガム音楽院
- ・ショパン音楽大学
- ・バルセロナ リセウ音楽院



2. 大学院

以下の事柄に重点を置いて業務を行った。

- ・ 修士論文審査体制の見直し（学位規則の一部改正）
- ・ 教職課程再課程認定の申請（専修免許）
- ・ 大学院音楽研究科の入試広報の実施
- ・ コンピュータシステムの導入に向けた検討、諸準備
- ・ 修士課程の教育研究に係る組織、カリキュラム等に関する検討
- ・ 春学期、秋学期制に対応したカリキュラムの改編の検討
- ・ 修士課程委員会（常設委員会）の新設の検討
- ・ 新キャンパス移転に伴う雑司ヶ谷キャンパスの施設活用に係る検討
- ・ ティーチング・アシスタントの博士後期課程導入

3. 研究支援

< 個人研究費 >

専任教員 120 人中 92 名が申請し、総額 18,333,974 円であった。

個人研究費でのパソコン購入を認めることになり、その結果は、研究機器（パソコン）の申請者は 17 名で、その合計額は 2,436,483 円であった。研究図書費が 2,504,344 円であり、研究図書費とほぼ同額となっている。

機器の耐用年数から退職時に教員へのパソコンの返却を求めないことにしているが、研究図書に関しても図書登録業務の軽減と返却された研究図書の収容スペースの確保が難しい状況にあることから、今後、研究図書も研究者の継続的研究に必要な研究図書として返却を求めない方向で検討したい。

< 公的研究費 >（日本学術振興会科学研究費の競争的助成資金）

本学は研究代表者として教授 1 名、准教授 2 名、非常勤講師 1 名、計 4 名の 2017 年度総額 650 万円（直接経費 516 万、間接経費 99 万）を管理し、研究機関としての研究支援を行った。また、本学の外国語教授が立命館大学への所属研究機関異動があったため、研究課題開始年度に遡って立命館大学へ研究実績の引継ぎを行った。

その他、九州大学に所属する教授からの研究分担者として、本学の教授に研究分担金 28.6 万円が支給されているため、同じく分担金の管理及び九州大学への収支報告を行った。

4. 地域連携・社会人講座

<地域連携> 「としまコミュニティ大学講座」

(豊島区との連携・協働に関する包括協定に基づく取組)

日時	タイトル	内容	講師	備考
10月21日(土) 14:00 A200教室	「クラシック」の源流 大正～昭和初期を振り返って	大正期から昭和初期に一般に定着してきた「クラシック」(洋楽)は、現在私たちが考えるクラシック音楽とは異なる内容でした。実際に演奏されていた場や曲例をたどりながら、歴史を振り返る。	講師: 武石みどり ヴァイオリン 佐々木大芽 チェロ 佐藤実樹 トランペット 丸山葉津紀 クラリネット 飛田悠里 ピアノ 伊舟城 歩生	集客: 81名
11月18日(土) 14:00 A200教室	アジアに目を向けて ～インドの文化と音楽～	先進的デジタル技術と悠久の歴史が共存するインド文化、そこに育まれるインド音楽の紹介。	講師: 小日向英俊 (シタール) ゲスト: 逆瀬川健治 (タブラー)	集客: 87名 控室A201
12月2日(土) 14:00 A200教室	ニッポンの伝統音楽 ～義太夫節の世界～	伝統音楽の中でも特に発声法に特徴のある義太夫節を取り上げます。ゲストに女流義太夫の第一人者で人間国宝の竹本駒之助氏を招き、実演、インタビューなどを通して、義太夫とは何かを実感してもらう。	講師: 太田暁子 (三味線) ゲスト: 竹本駒之助 (浄瑠璃)	集客: 78名 控室A201



～インドの文化と音楽～

※学長の豊島区アートカルチャー特命大使特別顧問就任、および、2019年の東アジア文化都市に豊島区が選定されたことにより、本学と豊島区との連携・協働は今後より一層深まると思われる。

<文化力発信プロジェクト>

2018年4月8日

中目黒桜まつり「ライトアップコンサート」

2018年3月31日・4月1日

羽田空港「ビックバンドコンサート」



<社会人講座>

個人レッスン形式の社会人講座「ピアノ個人レッスン」が5月から開講された。5回分又は10回分の1年間有効レッスンチケットを発行し、継続を含め、延べ46名が受講した。

5. FD・SD研修会の開催

- ① 2017年9月12日 FD研修会「アクティブラーニングを促進するための効果的な講義」
- ② 2017年12月21日 SD研修会「ペーパーレス化について」
- ③ 2018年1月10日 FD研修会「教養教育について」

6. 施設整備

① 中目黒新キャンパス建設

新キャンパスは、一部仕様設計変更等の調整を行い 2019 年 1 月の竣工に向け順調に施行されている。また、付属高等学校野池袋校舎への移転についての準備検討を行い、J 館校舎の改修計画を進めている。

② B 館給水本管の改修工事

老朽化に伴う給水本館(地階から 13 階搭屋までの縦管)の漏水や赤水により 2017 年 5 月より着工し夏休み迄に、改修工事を行った。

③ B 館トイレ改修工事

毎年計画的に行っている、和式トイレの洋式化改修工事を今年度は 2 階男女 2 か所 4 階男子・10 階女子・11 階男子、合計 5 か所実施した。

④ B 513 教室屋根葺き替え工事

増築による B 513 大型教室の鋼板製屋根の老朽化により一部雨漏りなどが発生一部を除きカバー工法による屋根部葺き替えを実施、実質 2 枚重ね構造となり教室内の断熱にも効果が期待されている。

⑤ 館防犯カメラの改修及び増設

経年劣化による画質低下等により B 館防犯カメラ改修、多発する楽器の盗難により B 館内カメラを 4 台から 9 台に増設、高画質デジタル仕様とした。

⑥ 警備会社の変更

契約中の警備費値上げにより、3 社の警備会社による見積比較を実施、2018 年 4 月より西新サービス警備部に契約変更となった。

7. 広報

2016 年度に大阪三木楽器開成館ではじめた「学校説明会&出張レッスン」を、2017 年度は名古屋と新潟へも拡大させ、ピアノと声楽の「体験レッスン会」を 3 か所、計 4 回に亘って実施した。

<広報活動>

大学案内（冊子）	継続	6月発行	学校紹介のパンフレット
東京音大ジャーナル	継続	7月発行 1月発行	学外向け広報誌
音大カレンダー	継続	3月発行	学外配布用
学校見学会		通年	個人、団体
学校訪問（教職員）	継続	通年	35校
オープンキャンパス	継続	10月	受験生支援
体験レッスン	新規	5月21日（日） 6月18日（日） 10月29日（日） 3月25日（日）	受験生支援 声楽、ピアノ 受験生支援 声楽、ピアノ 受験生支援 ピアノ 受験生支援 声楽、ピアノ
大阪出張レッスン	継続	4月	受験生支援 ピアノ
名古屋出張レッスン	新規	9月	受験生支援 ピアノ
名古屋出張レッスン	新規	3月	受験生支援 声楽、ピアノ
朝日新聞主催音大フェア	継続	6月	受験生向け大学のPRイベントに参加 個別相談対応
日本留学フェア（台北）	継続	7月	個別相談対応
ホームページ更新作業		通年	大学の情報発信
広告出稿		通年	雑誌、図書、新聞、 演奏会プログラム等)
プレスリリース		通年	ロゴ制定、愛称制定
地方音楽教室		通年	仙台、福岡、山形

付属機関

1. 付属図書館

新たな試みとして、多数参加授業内で新入生全員への図書館ガイダンス、博士課程総合講座内でのデータベース・電子書籍活用ガイダンスを実施した。図書館が学内の情報リテラシー教育を担うよう求められるようになって久しく、今後もこうした試みは積極的に行っていきたい。

また、新校舎開校に向けて両キャンパスでの図書館機能について、教員、他部署と意見・情報交換しながら検討を重ねた。サービス拡充と業務の効率化を両立させる知恵と工夫が求められる現状を痛感している。今年度の主要業務は下記の通りである。

- ・資料の選書・収集・整理・OPAC 公開、専用システム上での運用管理
- ・学術オンライン・リソースの選定と契約済みリソースの利用促進
- ・授業と連携した図書館・情報リテラシー教育の実施
- ・利用者教育と利用者サービスの強化
- ・ホームページや冊子等による広報活動
- ・学位論文、学内関係者研究成果等の機関リポジトリでの公開とリポジトリの管理運営
- ・展示・イベント等を通じた利用者啓蒙と地域貢献
- ・紀要、大学院論文集等図書館担当刊行物の編集、発行、配付
- ・特殊な寄贈資料の整理・運用と貴重資料のマイクロ化・デジタル化
- ・新校舎開校に向けての図書館機能の再検討と業務の見直し

2. 付属高等学校

2017 年度 3 年度入学)は 70 名、新入生は 28 年度 72 名、29 年度 85 名と増加に転じた。さらに 2018 年度は 88 名と過去 3 年間増加傾向にある。今後とも 3 学年全体で 240 名程度の生徒数を維持したい。

3. 付属幼稚園

3 年保育 49 名、2 年保育 5 名、計 54 名の新入園児を迎え、年少 49 名、年中 42 名、年長 43 名の合計 134 名でスタートした。運動会や演奏会、その他各種行事も大盛況であり、滞りなく行うことができた。

預かり保育の利用者も、毎日長時間利用の月極申込者も、前年度並みにあり、単発利用も合わせると 1 日平均 50 名余りの利用があり、長期休暇中の預かり保育も、一日に 20～30 名の利用があった。また預かり保育の予約を保護者のスマートフォン、パソコンから行えるようシステムを導入、予約状況の把握が簡潔になるなど、ある程度の業務上の効率化をはかることができた。しかしながら、人数が多い上に利用の仕方が

複雑多岐にわたっているため、補助を含め4人体制であっても、日々ぎりぎりの状況であった。

さらに、課外授業の受講者も増加、保育後半数以上の園児が居残っているという現象が起きている。たしかに、課外授業も本園の特色のひとつとしてすっかり定着しているが、本来の音大付属幼稚園の理念から遠のきつつあるようにも感じられる。

一方、園児募集の一環として行っている未就園児対象のピッコロランドは、29年度も軒並み満員で大好評であった。しかしながら、入園考査志願者数は確保しながらも、その後の辞退者が続出、結果的に新入園児数は減少に転じることとなった。いかに実際の入園につなげるか、園児募集の対策も含めて考えていかなければならない。預かり保育や課外授業といった付帯のものばかりに頼らない、日常の保育そのものが魅力あふれるものとなるよう、教職員一丸となって努力してゆく必要がある。

4. 付属音楽教室

① 付属音楽教室の2017年度在籍者数

- ・在籍者数 118名（入室生75名、オープンシステム受講生43名）
- ・付属幼稚園ソルフェージュクラス 21名（園児14名、卒園児7名）

② 2017年度の演奏会

- ・学外演奏会：2017年7月17日（月・祝）トッパンホール 集客数304名
- ・学内演奏会：2017年11月18日（土）本学A館100周年記念ホール
集客数304名

③ 2017年度の主要コンクール入賞

全日本学生音楽コンクール東京大会奨励賞 1名

5. 付属民族音楽研究所

<公開講座>

- ・ガムランと西洋音楽の出会い（7/18）
- ・伊福部昭の遺した楽器～明清楽器を聴く【其の七】～御座楽と明清楽（10/13）
- ・音楽は自然とともに（10/17）
- ・中央アジア・キルギス民族楽器アンサンブル<オールドサフナ>を聴く（11/22）
- ・韓国の伝統楽器：カヤグムとチャンゴの歴史・特徴・奏法（12/1）

<日比谷図書文化館（千代田区立図書館）との連携>「日比谷カレッジ」

- ・口琴の響き、その歴史～日本とその周辺の口琴文化と歴史を知る～(6/20)
講師：講師：直川礼緒
- ・月琴の世界（10/4） 講師：稲見恵七
- ・二胡の響きⅡ（12/10） 講師：劉 継紅
- ・千代田区昼休みコンサート～二胡の奏でる夢幻の世界～(3/9) 講師：劉 継紅